

おおどり



第 9 号

学校教育目標 すすんで学ぶ子 あかるく健康な子 しんせつで優しい子

令和7年12月1日

〒355-0072 東松山市石橋 1150-1 TEL 0493-22-2120 FAX 0493-22-2709

小笠原 泰代

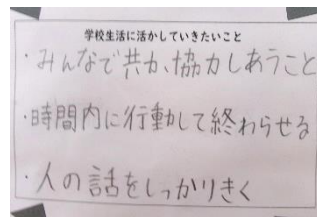
行事を通して大きく前進

11月は、全校遠足から始まりペース走記録会まで、たくさんの行事が行われました。

市内音楽会には6年生が代表で出場しました。合唱というのは、周りの人の声をよく聞き、バランスを考えて発声して、はじめてきれいなハーモニーを響かすことができます。音楽会当日に素敵な歌声を響かせることができたのも、学年内の協調性が育まれたからだと思います。また、他学校の多くの人が聴いている大きな舞台に緊張しながらも立つ経験ができたのは、6年生にとって良い経験となったことでしょう。

松山女子高等学校の音楽部の生徒さんに来ていただき、芸術鑑賞教室も行われました。全国大会に11回も出場経験のあるトップクラスの歌声を目の前で聞くことができ、児童一人一人の胸にグッとくるものがありました。心なしか、鑑賞後の音楽授業の歌声が変化したようにも思います。

5年生は、1泊2日で宿泊学習に行ってきました。学校では元気いっぱいの子供たちも、電車では静かに過ごし、キャンプファイヤーではルールを守ってゲームを楽しむ、そんな姿が見られました。友と共に2日間過ごす中で学んだことをしっかりと振り返り、今後の活動に生かしたいことをまとめることができました。6年生（学校のリーダー）に向けて、一步前進しています。



全校遠足やペース走記録会では、上級生が下級生の面倒を見る場面がたくさんありました。優しく手を取って歩く姿、腰をかがめ目線を合わせて優しく話しかける姿、最後まで頑張るように励ます姿、これは、学年だけで取り組んでいては見られなかった姿です。長い距離で大変ではあったけれど全校で行ったから、そして、ペア学年を組んで取り組んだから育まれたことです。自分のことだけではなく、周りのことも考えられる子供たちに、行事を通して育っています。

これも、温かく見守ってくれる、自分の子だけではなくみんなを応援してくれる保護者・地域の方あっての成長だと感謝しています。

12月には、一番下の学年の1年生も保育園を招待して活躍します。一步前進する姿が楽しみです。

おめでとうございます

【発明創意工夫展】

優秀賞 6年 さん「つめ切りBOX」

優良賞 5年 さん

「線まで入れてバターロールパン」

【税に関する絵はがきコンクール】

入選 6年 さん

ご協力ありがとうございました。

PTA 活動の一環として、「ノーベル物理学賞受賞 梶田隆章基金」への募金にご協力いただきありがとうございました。

基金の3つの目的に基づく事業のひとつ「理科教育に対する興味の高揚」として、5年生が日本科学未来館の見学に行きました。

11月の様子



1年 リースづくり(学年行事)

7日(金)に保護者のみなさんにご協力いただき、1学期から育てていたアサガオのつるで、リースをつくりました。いろいろな材料を飾り、世界で一つのリースができあがりました。



2年 まちたんけん

10日(月)に、まちたんけんに行きました。保護者の方、地域の方、松山女子高校のお姉さんたちなどたくさんの方にご協力いただき、たくさん貴重な体験ができました。



全校 松山女子高校交流会

10日(月)に恒例の交流会がありました。今年も50人以上が参加してくれ、子供たちも大喜びでした。子供たちとのふれあいに加え、校内の落ち葉はきもありがとうございました。



全校 芸術鑑賞教室

13日(木)に松山女子高校の音楽部のみなさんをお招きして、芸術鑑賞教室が行われました。全国レベルの表現豊かな歌声に圧倒されました。青鳥小の校歌も披露してくださり、子供たちも聞き入っていました。



5年 宿泊学習

19日～20日に小川げんきプラザに宿泊学習に行ってきました。金勝山の登山、スタンプラリー、キャンプファイヤー、カレーづくり・・・1泊2日の間にたくさんの経験を仲間と共にすることができ、学校に戻ってきた子供たちの顔つきは少したくましくなったような気がします。子供たちと共に準備をしてくださり、応援してくださった保護者のみなさん、ご協力ありがとうございました。



全校 ペース走記録会

28日(金)に、ペース走記録会が行われました。自分の新記録を目指し、どの子も一生懸命走りました。終了30秒前になると、記録をとってくれるペアの子が近くまできて応援してくれました。「あと少し」「がんばれ」という声がとびかい、応援してもらう子もそれに応じて力をふりしぼります。自分の記録更新とともに、友達のがんばりも称えることができる、すてきな青鳥っ子たちがたくさんいました。

